

16Vシリーズ

No.	項目	規格	試験方法
1	使用温度範囲	- 30 ~ +85	最大電圧を印加した時、使用可能な周囲温度範囲。
2	実装後の保存温度範囲	- 40 ~ +85	ポジスタ®を実装状態で保存可能な保存温度範囲。
3	抵抗値 (R25)	定格値を満足します。	周囲温度25 において、最大電圧3分印加後、室温 (25)に2時間放置した後、1.5Vdc以下 (測定電流10 mA以下) の直流端子電圧を用いて測定する。(リード線キック下2mm以内に測定端子を接続し、4端子法で測定すること)
4	耐電圧	異常はありません。	周囲温度25 において、ポジスタ®の端子間に0Vより徐々に印加電圧を上昇させ、最大電圧の110%を180 ± 5秒間印加する。(ただし、直列に保護抵抗を接続し、ポジスタ®に流れる突入電流を最大電流以下に制限すること。)
5	保護電流	動作電流以下・不動作電流以上の値を満足します。	ポジスタ®に流れる電流が最大となった所の電流。静止空気中において、電圧を少しずつステップ的に3分間印加していき、電氣的・熱的に安定した時の最大電流を測定する。
6	端子引っ張り強度	ポジスタ®本体に損傷ありません。	ポジスタ®本体を固定し、各端子の軸方向に4.9Nになるまで荷重を徐々に加え10秒間保持する。
7	端子曲げ強度	リード線は切断しません。	リード線の引出し軸が、垂直になるように荷重2.45Nを釣り下げ、90度曲げ元に戻し、さらに逆方向に90度曲げ、再び元に戻す。以上の操作を1回徐々に行う。
8	はんだ付け性	リード線の円周方向3/4以上で、軸方向に浸したところまで切れ目なく、はんだが付着しています。	リード線をロジン (JIS K 5902) のイソプロピルアルコール (JIS K 8839) または、エタノール (JIS K 8101) 溶液 (約25wt%) に5 ~ 10秒浸漬し、次に本体の根元から2.0 ~ 2.5mmのところまで、235 ± 5 のはんだ (JIS Z 3282 H60A) 溶液中に2 ± 0.5秒間浸す。
9	はんだ耐熱性	抵抗変化率 試験前の値に対し: ± 15%以内 表示は読めます。	リード線を本体の根元から2.0 ~ 2.5mmのところまで、350 ± 10 のはんだ (JIS Z 3282 H60A) 溶液中に3.5 ± 0.5秒間浸漬する。そして、室温 (25) に24 ± 4時間放置後、抵抗値を測定する。
10	高温負荷	抵抗変化率 試験前の値に対し: ± 20%以内 表示は読めます。	温度85 ± 3 の恒温槽において、最大電圧を1.5時間加え0.5時間休止するサイクルを500 ± 10時間繰り返し、室温 (25) に1時間放置し、抵抗を測定する。(ただし、直列に保護抵抗を接続し、ポジスタ®に流れる突入電流を最大電流以下に制限すること。)
11	耐湿性	抵抗変化率 試験前の値に対し: ± 20%以内 表示は読めます。	温度40 ± 2 、湿度90 ~ 95%の恒温 恒湿槽に入れ、500 ± 4時間放置したのち、大気中に取り出し乾布で軽くぬぐい、室温 (25) に1時間放置し、抵抗を測定する。